

# 佐 潟 通 信

2010年7月

## 39号

—初夏の佐潟—

### ◆佐潟のいきもの 2010年厳冬から春、そして初夏

新潟県内は2月上旬、新潟市など下越の海岸平野部を中心に記録的な大雪となりました。2月5日には最深積雪は81センチを観測、1984（昭和59）年1月の「59豪雪」以来、26年ぶりの大雪となりました。交通機関も大幅に乱れましたが、そろそろ北帰の動きをみせていた白鳥たちもびっくりしたのではないかと思います。2月12日の飛来数カウントは、記録的な6,939羽でした。多くの白鳥が、佐潟に一時避難してきたものと考えられます。

ジョウビタキがいなくなると、ノビタキが春を連れて佐潟にやって来ます。4月、満々と水を湛えた佐潟の湖面にさわやかな風が通り過ぎていきます。

自然生態園では、数羽のクイナが住み着いていたようで頻りに観察できましたが、5月GW過ぎには見かけなくなりました。

例年通り、4月下旬にオオヨシキの初認、その後「ギョ、ギョ、シー」とにぎやかにになり、7月には若鳥の姿も見かけるようになりました。



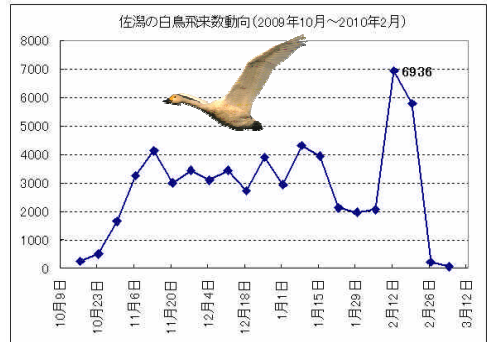
生態園に出没したクイナ

### ◆ 第9回佐潟周辺自然環境保全連絡協議会

第9回連絡協議会が平成3月24日に開催されました。議題は

- (1) 平成21年度佐潟公園ヨシ刈り実施結果について
  - (2) 佐潟周辺自然環境保全計画の進行管理について
- でした。会議では「佐潟ヨシ刈り地におけるヨシ生長量と出現した植物について」の報告があったほか、佐潟の保全とその活動について、以下4点の地元提案があり、検討しました。
- 【藪の一部伐採について】
  - 【シノ竹等の伐採ボランティア活動とその範囲について】
  - 【水門の改修について】
  - 【ヨシ刈り出しの実施について】

詳しくは、新潟市ホームページをご覧ください。  
<http://www.city.niigata.jp/info/kantai/manifesto/kyougikai/9th-gijj.htm>



### ◆佐潟桜まつりと中原邸公開 2010年4月11日

4月11日に赤塚商工会と佐潟観光協会の主催で「佐潟桜まつり」が開催されました。当日は、桜が咲き始める中、漕舟や人力車の運行、屋台村、特産品販売などでにぎわいました。



稚児舞復活の舞台↑  
←中原邸公開のようす

また、桜まつりと共催し、地域の財産である「中原邸」の一般公開がありました。庭園では伝統芸能「赤塚太々神楽 稚児舞」が約20年ぶりに復活され、多くの住民が目を細め拍手を送っていました。

### ◆「チーム佐潟」の活動 2010年6月～

佐潟や中原邸の保全とワイズユースの具体的な活動貢献として、ボランティア藪整備活動で発生した竹などをチップや炭にして利用しようと活動を開始しました。参加メンバーは、佐潟と歩む赤塚の会や赤塚・中原邸保存会などの地元団体、機材提供業者、国際ソロプチミスト、そして佐潟水鳥・湿地センターも協力して、今後3年間をめどに推進していきます。



ハスの成毛



竹炭の成毛

## ◆クリーン活動のようす 2010年3月28日

「春の潟普請」第8回佐潟クリーンアップ活動を地元自治会と住民有志が主体で行ない、不法投棄の現状把握、問題解決にあたりました。特に上潟は、周遊者も少なく畑を持つ農家以外は立ち入らないエリアであり、不法投棄の温床になりやすいため、ごみの目立つ春先に回収を行ないました。

特に問題の箇所では、古い農業用のマルチビニールの上にタイヤ、冷蔵庫、一般家庭ごみが散乱、山となっており、2トントラックでは回収しきれませんでした。残りのごみは、今後も回収に向け取り組んでいく予定です。



人目の少ない藪の中

想像以上のごみと格闘する

## ◆凧つくり凧上げ大会 2010年5月17日



しろね大凧と歴史の館と凧名人の協力を得て、佐潟と歩む赤塚の会と佐潟水鳥・湿地センターの共催で、凧つくり凧上げ大会を行ないました。

参加者は凧名人の指導を受け、学生ボランティアに手伝ってもらいながら、インバーダーカイト（ポリプロピレン製凧）を作りました。ほどよい風が吹かなか、凧名人の指導もとで子どもたちが次々に凧を上げることができました。「上がった！上がった！」歓声と拍手が沸き起こりました。

このほか、凧名人が持参してくれた大きな凧やカエルなどのおもしろ凧を上げる体験もできました。

## ◆佐潟エコツアー 2010年6月6日

快晴無風の野外活動日和の日に、潟舟体験と植物観察を行ないました。

潟舟は2艘に分かれ、参加者は潟内中央付近からの絶景を水面すれすれの視点から楽しむことができました。最初は少し不安気な子どもたちも潟に手を触れるなどして、ニコニコ顔になっていきました。また、植物観察はやさしく分かりやすい解説で、佐潟の植物を楽しむことができました。いずれも、普段とは違った角度から、佐潟を体感できました。

その後の試食体験では、佐潟に生えているヨモギやクサソテツ（コゴミ）などを菜の花油で天ぷらを揚げました。

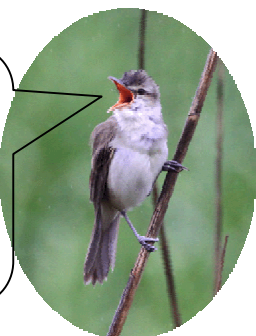
参加した親子は「すごく良い経験ができました」などと感想を話してくれました。また、当日は新潟大学の学生や地域住民等の応援スタッフの活躍が光りました。

今回は、単に楽しかったというだけでなく、佐潟の豊かな自然と佐潟に関わる人とのつながりを感じることでできたイベントとなりました。



### 佐潟自然散歩

10月までの毎月第2、第4土曜日9時30分～開催。散歩気分で佐潟を巡りませんか。



### 佐潟水鳥・湿地センター利用のご案内

【開館時間】9：00～16：30（冬期間11月から2月の土・日は7：00から）

【休館日】月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始

編集 佐潟水鳥・湿地センター

〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1

電話 025(264)3050 / FAX 025(264)3051

E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp

発行 新潟市西区役所区民生活課

〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号

電話 025(264)7261

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。